

ふるさと奥尻通信

平成24年5月15日
奥尻町教育委員会発行
事務局:01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

巻頭語

1日は奥尻島の「島開き」ですよ！いよいよ島人も本格始動です。うにまるくんもすでに暖機運転は十分です。いきなりフルスロットルで飛ばしますから、振り切られないように皆さんついてきてね☆

特集 元祖ゆるキャラ”うにまるくん”の謎にせまる

奥尻島の海の玄関、フェリーターミナルで来島者を出迎えるのは、なんとも可愛らしいマスコットです。その名は「うにまるくん」。生まれは平成元年(1989)で、イテテ座生まれの奥尻育ち、茶目っ気のある好青年？なんと血液型はY型！星座はイテテ座なんですね。確かに頭のトゲは刺さると痛いけれど、うにまるくんのトゲは丸いのでたくさん触っても大丈夫。

さて、うにまるくんのトゲは何本あるの？基本的には7本です。けれども、うにまるパークのタイムカプセルのものはトゲが6本なのです。気がつきましたか？なぜでしょうね。今のように動くうにまるが姿を現したのは、平成13年(2001)からで、それ以前はなかなか皆の前に出てこなかったのです。実は恥ずかしがり屋さんだったんでしょうね。

ウニの生態については本通信第36号でご紹介しました。もう少し述べますと、キタムラサキウニを「ノナ」と呼び、島北西部には「海栗前」もしくは「野名前」と書いて「のなまえ」と読む地名があります。さぞウニがいっぱいあったのでしょう。また、エゾバフンウニを「ガンゼ」と呼んでいます。昔は奥尻でも採れたそうですが、最近ほとんどいないようです。一般的にガンゼのほうが美味しくて、値段も高いことになっていますが、奥尻のノナはひと味違いますよ！味も良いし、値段もお手頃ですから、ぜひお土産にもどうぞ。



空港フットパス(大寺屋敷)まで出張！

☆プロフィール☆

生まれ	平成元年(1989)
育ち	イテテ座生まれ奥尻育ち
性別	男性
血液型	Y型(“YUME”のY)
星座	イテテ座
身長	180cm (デカイな)
体重	60kg位



とげが6本のもある



美女にかこまれて♪

北海道の離島のキャラクターを紹介しましょう。北から順に、礼文町の「あつもん」、利尻町の「りしりん」、利尻富士町の「りっぶくん」と「りっぶちゃん」、羽幌町の「オロ坊」です。どれもなかなか可愛らしいけれど、う～ん、やっぱりうにまるくんがイチバンですね☆誕生年をみればわかるように、最年長なのです。ゆるキャラの元祖たる所以です。

生まれ	なまえ	モチーフ	生年
奥尻町	うにまるくん	キタムラサキウニ	1989年
礼文町	あつもん	レプンアツモリソウ	2008年
利尻町	りしりん	利尻昆布	2011年
利尻富士町	りっぶくん	シマリス	1991年
利尻富士町	りっぶちゃん	シマリス	1991年
羽幌町	オロ坊	オロロン鳥	2012年

参考までに、みうらじゅん2004『ゆるキャラ大図鑑』に全国各地のキャラクターが紹介されています。キャラは全国で毎年のように誕生しているようなので、今後もゆるキャラブームは続きそうですね。

画像は各町ホームページより転載



うにまるパークにもいるよ



今回は古道具。しかもデカイ！稲穂ふれあい研修センター展示品の中でも、「奥尻島最後の木造磯舟」に次いで大きな品物で、縦146×横136cm、丸鋸の直径92cm、重さは量りきれません。これは切り出した丸太を真っ二つにすることができる大型の丸鋸で、及川義治さんが製材のために愛用してきたものでした。その後、使用されなくなって宮津の森林内に長らく取り残されていたのですが、及川さんから寄贈されることとなり、下まで降ろして同センターに収蔵、展示しているものです。



重量感のある迫力のボディー

さて、この大きな円盤状の鋸をどうやって回転させるのか。その動力は、当時は発動機と呼ばれたガソリンエンジンを使用しました。エンジンの回転軸と本体の軸を長く丈夫なベルトで連結し、鋸を駆動させる訳です。参考に、昭和初期の工兵部隊で実使用している様子を紹介いたします(写真下)。サイクルは奥尻のものの方が、シンプルな構造のようです。

一本の丸太を半分に切り、さらに様々に加工していくことで、建築部材として多様な板材を得ることが出来ます。住居をはじめとする木造建築を容易ならしめる機械なのです。



架橋演習時に於ける製材作業

月刊 奥尻のつり 5月号

5月3・4日開催の春のフェスティバルの結果を速報します！暴風雨の悪天候に泣かされた釣り人が多い中、総合優勝はカジカ54cm、10匹重量10.75kgで佐藤勉さん。大物賞はカレイが斉藤さん(42.5cm)。ソイが奥尻の堀川さん(42cm)という結果です。学芸員は43.5cmのアブラコ(奥尻港商工会前埠頭)で魚種の部3位に食い込みました。おまけに西海岸の岩場でタコも格闘の末、捕獲！



奥尻これなんだろう？ 第2回

青苗の前浜を散歩していたら、砂がポコッと盛り上がっていたよ。なぜだろう？もしや、巨大なサクラ貝でも棲んでいるのかも！けれど、下を掘っても貝はいなかった…。さて、下から出てきたものとはいったい？

先月の答え：昔の木製電信柱



観光客のお出迎え

賞テがら域地聞だ都たのめ中ぎ伝澄酒こ飲次海すヶ尻な上な回開
しス、れ密域かつ会。大し学につのがとん々・りの伝りが陽目催恒例
てト観た着社れたでこきく生なて江三ででと農身三統まり気でさ例
おに光よ型会まよはのな動のり、差〇、震焼産汁平のしをでしれの島
り学協うののしう見よ手いボま飲追升宮災か物汁味た見、たま島
ま芸会で好連たでらう助てらしめ分持城復れがが、で。せ過がしひ
す員のす例携。、れなけいんたやうち県興て例振とあ来た去、たら
へのフ。とと学驚な奉とてテ。歌イ込石支いのるーる場イ最初。き
♪作オ私受け校きい仕な、イ会えヴま巻援ま焼舞ホ、者べ高夏今が
一品ト事けう社の光活り運ア場のもれ市としきわケホはト盛よで
。がコで止、会声景動ま営がで大手、のいた台れケホはト盛よで
入すめ地とも はし上まは騒 香地う。で、のツ奥とりう六に

奥尻島しまびらき開催

島に赴任しまして、ようやく1年経ちました。地域の皆様に支えられ、未熟者が何とか過ごせてきました。心より感謝いたします。ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。2年目の抱負としましては、今までを踏襲するだけで満足するような毎日とせず、日々新たな発見をし、それを一般へ還元するよう心がけたいと思います(2年目のしんた)。

新来之記録(編集後記)

皆し年来青の板一へつのルタ
様て特年苗新、歴公新おしし稲
ごい別度地設一史開た披まの穂
協き企開区を青民しな露し展ふ
力ま画催の行苗俗て資目た示れ
くす展予古い砂資い料で。物あ
だの示定写ま丘料きをすまをい
さでのの真す遺展ま一がだり研
い、準震の。跡示す般、まニ修
。地備災展今一室の少だユセ
域な二示後看「ま皆しーン
のど〇、は板見た様ず部ア

展示物リニユーアル!



青苗簡易水道敷設工事 昭和31年